報道関係者各位
プレスリリース

2025年８月21日
ifm efector株式会社

製造現場のスマート化を加速するIO-Linkマスタ”AL1590/AL1591”

-現場の可視化と予知保全を支える-



制御の自由度と現場の信頼性を両立

ifm efector株式会社（本社:東京都港区、代表取締役 岩室 一志）は、産業用通信の新たなスタンダードとなるIO-Linkマスタ”AL1590(産業用)”および”AL1591(ハイジェニック用)”の国内展開を、2025年8月より開始します。これらの製品は、OTレベルの産業イーサネット PROFINET, EtherNet/IPとITレベルのOPC UA, MQTT JSONなど異なる通信プロトコルに対応し、OTレベルでは制御ネットワークの最適化、ITレベルではデータ分析・活用を同時にシームレスな接続が実現できます。セキュリティ要件にも対応し制御ネットワークの安定性を確保しつつ、安全なIIoT導入を支援します。AL1590は一般産業用途向けに、AL1591は食品・飲料業界など衛生管理が求められる環境向けに最適化されており、いずれも堅牢なフィールドマウント設計により、過酷な現場でも安定した動作を確保します。さらに、IO-Linkによる双方向通信により、センサやアクチュエータの状態監視やパラメータ設定が可能となり、予知保全やトレーサビリティの実現を支援します。これにより、ユーザーは「異機種混在による通信トラブル」「センサ状態の可視化不足」「新規設備導入時の工数増加」といった課題の解消が期待できます。その結果として、生産ラインのダウンタイム削減、保守作業の効率化、IIoT対応によるデータ活用の高度化といった効果が見込まれます。たとえば、自動車部品メーカーでは、自動車メーカでは、センサデータをOPC UA経由でクラウドへ集約しシステムの可視化とPLCへの負担軽減を実現しています。一方、食品工場では、AL1591の高い耐環境性により、洗浄工程を含むラインでも安定稼働を確保し生産性を向上できます。ifm efectorは今後も、ユーザー主導型のスマートファクトリー実現に向けた製品開発と技術支援を通じて、ものづくり現場の進化をトータルソリューションで支えてまいります。

◆主な特長◆
- IODD interpreter機能によりセンサデータを読取可能な形式に変換
- OPC UAサーバ機能を使用しセンサデータをITレベルへ直結
- フィールドバス通信マルチプロトコル対応でPROFINETとEtherNet/IPのコントローラを柔軟に選択

◆製品名・価格◆
- 製品名： フィールドバス通信マルチプロトコル対応 OPC UAサーバ内蔵IO-Linkマスタ ”AL1590”,”AL1591”
- 標準価格： 94,200～ 104,300円(税別)
- 販売目標：年間10,000個

＊本製品の詳細は、下記URLよりご覧いただけます (IO-Linkマスタ ”AL1590”,”AL1591”)
https://bit.ly/AL159x

ifm efector株式会社：会社概要
弊社は1969年にドイツで誕生以来"ifm-Close to you"を企業理念とし、センサのスペシャリストとしてお客様に寄り添っています。今日では従業員8000名を超える大企業に成長し、幅広いセンサのラインナップに加え、IoTのカギとなるIO-Linkの先駆者としても世界的に広く認知されるメーカーとなり、多くのお客様にソリューションを提供させて頂いております。日本では、長い間エフェクター株式会社として活動しておりましたが、2016年にifm efector株式会社に社名変更し、より良い製品、サービスの提供に努めています。

〒105-7104　東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター４Ｆ　　Website:https://www.ifm.com/jp
本リリースに関するお問い合わせ先
マーケティング / 會田庸子：e-mail:yoko.aida@ifm.com
製品に関するお問い合わせ先/ 営業部：technical.jp@ifm.com